

2022年1月23日(土) 2時~4時

## 「Mineko さんにきいてみた

### —南アフリカと Zoom でつないだ学習交流会—

1月23日(日) 学習交流会が行われました。今回の講師はなんと！南アフリカから。連載「地球時代の選択肢」でもおなじみの吉村峰子さんでした。午後2時から始まるアフタヌーンティの時間帯でしたが、最初の挨拶は「皆さん、おはようございま〜す」…現地の南アフリカは朝7時。吉村さんには早朝からご無理をお願いしました。



南アフリカ・ダーバンは朝の7時。鳥のさえずりが聞こえるご自宅お庭からのご出演。

皆さんが訊いてみたいことにお答え下さいました。

- ◎南アフリカという国について...人種差別、発展途上国の印象があるが...
- ◎海外から見た日本について...日本の政治や経済、文化はどう見えるか
- ◎世界の進むべき道について...平和と人権、気候変動などの諸問題
- ◎吉村さん個人について...その行動力はどこから？なぜアフリカに？

# 学習交流会 ZOOM開催 1月23日(日) 14:00~15:30

## minekoさんにきいてみよう 南アフリカから世界は今

講師: 吉村峰子さん



日本の高校を卒業後、米国の大学・大学院で6年間過ごす。息子はリベリア生まれ、娘は生後3ヶ月でエチオピアへ。夫の仕事の転勤でアフリカの各国で駐在後、南アフリカ・ダーバンに家族で移住。

朝日に輝くお庭から「南アフリカという国について」「海外から見た日本について」「平和と人権について」など縦横に語っていただき、参加者との質疑応答を含め、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

ダーバンはインド洋に面した港町で、南アフリカではヨハネスブルグ、ケープタウンにつぐ第3の都市です。吉村さんは郊外の住宅地にお住まいで、朝日がまぶしく、鳥のさえずりが聞こえるご自宅のお庭からお話してくださいました。お話には下記シートが用意され、参加者は吉村さんからの質問に積極的に答えながら、双方向の学習交流が行われました。

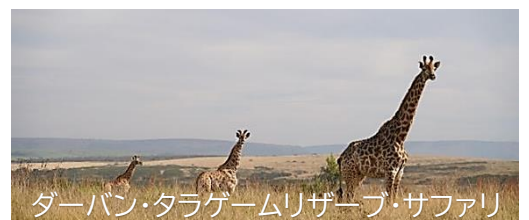


Fact Sheet South Africa and Japan

| Fact      | South Africa | Japan |
|-----------|--------------|-------|
| 人口        |              |       |
| 面積        |              |       |
| 利用可能な土地   |              |       |
| 言語        |              |       |
| 平均寿命(人種別) |              |       |
| 結婚式・葬式の意味 |              |       |
| 宗教        |              |       |
| 人気のあるスポーツ |              |       |

### 面積と人口

南アフリカの面積は日本の3.2倍。人口は日本の半分以下の6千万人。日本の国土は7割が森林や河川で人が住めないのですが、南アフリカの自然は観光資源として活用されており、人がすんでいるそうです。





**南アの公用語は11もある** 日本の公用語はひとつですが、南アフリカはズールー語やコサ語、アフリカーンス語など、なんと11言語もあります。コミュニティは部族の言葉を使っており、学校も「一番わかる言葉で教育を受ける権利」が認められています。ただ、教科書まではなかなか整わず、現実的には国全体にかかわる公文書はほとんど英語だそうです。

**平均寿命は意外に高い** 日本は世界一の長寿国ですが、南アフリカも独立時の46歳から現在の66歳まで、驚異的に伸びました。HIV（エイズ）の蔓延した時期に、国の隅々にまでクリニックができました。そこを地域拠点にした草の根の医療体制や保険制度が、今の新型コロナ対応にも活かされているそうです。

### 結婚式とお葬式

吉村さんの娘さんはイスラエル出身の男性と結婚。西洋式を基本にしつつも複数の文化がミックスした結婚式となりました。花嫁の希望で友人女性たちも着物を着たので、その準備が大変だったそうです。このようなミックスは文化盗用とは異なり、お互いの文化に対するリスペクトが基本におかれるものだと話されました。



**日本人ってすごい??** 日本人が海外からどう見えているか？ですが、南アフリカでは「思いやりがあって、秩序正しく行動して、安全で、汚職もないんでしょ？」と言われるそうです。本当にそうでしょうか？

か日本で働いた女性エンジニアは黒人差別・女性差別に驚き深く傷ついて帰ってくる。日本は変わらなければいけないと話されました。

**アパートヘイトについて** 参加者から「アパートヘイトは撤廃されたが現在の状況は？ 白人と黒人の結婚はどうか？」という質問がありました。異人種カップルは都市部では少しずつ増えているそうです。（大学で知合った同士など）が、地方では少ないのが実態だそうです。文化的経済的格差の解消にはまだ数世代かかるのではないか、ということでした。

**現地の治安は？** 参加したNさんご夫婦は昔ヨハネスブルグでレンタカーを借りて旅行されたそうですが、「治安が悪く危険だから、赤信号でも止まらないように」と言われたとか。吉村さんは、今はかなり良くなったが、治安状態は場所によると話されました。例えば、殺人事件が世界一多いケープタウンは、街中の一部区域に9割集中している。ダーバンも夜間は危険。吉村さんの住居区には自警団があり、セキュリティ会社によって敷地に感知式ワイヤーがはりめぐらされ、建物に感知式ビームがついているそうです。

**吉村さんのお宅拝見♥** ここで、みんな「興味津々」吉村さんのご自宅を見せていただきました。庭のプール、アボガドの鈴なりになる樹、保護犬たち、家の中、リビングやキッチン、寝室など、すてきな洋式、和式、中東アジアなど複数の文化、芸術品にあふれるお宅でした。

